

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.24 JDS 栃木支部

● あゆみ

栃木支部は、1978年（昭和53年）「つくしの会」として活動を始めてから40周年を迎えます。獨協医科大学病院の働きかけがきっかけで、栃木壬生地区と宇都宮地区のダウン症のある子どもを持つ保護者がつながり、会が誕生しました。当初から地域の福祉施設や企業には交流会やお祭り等でご支援いただいております。

● 活動

大きな活動として、年に2回、宿泊を伴う療育訓練を行っています。講師を招いての勉強会や、調理・ダンス・音楽などの体験・親子活動などを企画。宿泊体験を通して自立や協調性を育みます。

本人やきょうだいが楽しく過ごせることはもちろん、親も異なる年代の方とゆっくりじっくりと話ができる良い機会です。

他にも様々な活動を定期的に行っていますが、月に1度、日曜の午前中に行うリトミックは、パパも含めてご家族で参加される方が増え、情報交換の場となっています。

また年代別活動は、それぞれの年代ごとのニーズにあった活動を企画。横のつながりを強くしてくれているようです。

毎年5月に太陽生命保険会社様のお招きで、那須塩原の国有林で開催される「森林教室」に参加しています。これは栃木支部ならではの活動です。ダウン症の啓発活動（JDSニュース5月号P11に掲載）は、3年前からスタートしましたが、今では大切な活動のひとつになっています。

私たちだけの団体だけでなく、県内の他の障がい者団体との交流も図り、相互理解と連携を取りながら、暮らしやすい社会を目指していきたいと思っております。

● 支部長より

情報も少ない中、苦勞して子育てをされてきた先輩方の時代とは、親の会の規模もニーズも変わってきているかもしれませんが、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは今も昔も変わりません。会員同士、直接会って、話して、協力して、つながることを大切に活動することを心がけています。

- ◆支部長名：^{あいぼ}饗庭 久美子
- ◆支部会員：支部会員 113家族と
特別会員 12名
- ◆設立：1978年（昭和53年）
- ◆ご本人の年齢：0歳～42歳
- ◆対象地域：栃木県内全域
- ◆連絡先：paddy_field_bm@rose.ocn.ne.jp



啓発展のイベント終了後、子どもたちとそのきょうだいで記念撮影